

〈新〉大嘗祭と日本人——稲・酒・〈女〉からのアプローチ

今年4月30日に天皇陛下が御退位、5月1日に新天皇陛下が御即位され、新たな元号「令和」に変わる特別な年に当たります。天皇陛下の御退位に伴う式典「退位の礼」、皇太子殿下の御即位に際しては「即位の礼」として剣璽等承継の儀、即位後朝見の儀、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、饗宴の儀と執り行われ、11月14・15日には「大嘗祭」も行われます。

即位後に初めて行う一代一度の新嘗（にいなめ）、「大嘗祭（だいじょうさい）」は新天皇が新穀を天照大神や祖先に供え、五穀豊穰と国の平安を願う祭祀とされていますが、大嘗祭の最奥部で何が行われているのか詳細は口伝であり秘儀とされています。

本講演会では長年にわたり大嘗祭について研究を続けてきた講師が、中国の長江以南と東南アジアなどでの稲の収穫儀礼における女性の重要性に着目するとともに、古墳時代、初期大嘗祭に力点を置き、大嘗祭の原型・本質・源に迫ります。



(C) 茅野市尖石縄文考古館

「縄文のビーナス」

(茅野市尖石縄文考古館所蔵)

講師 工藤 隆（大東文化大学名誉教授）

1942年栃木県生まれ。東京大学経済学部卒業、68年早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了、78年同博士課程単位取得退学。大東文化大学文学部日本文学科講師・助教授・教授を経て、現在同大名誉教授。専攻、日本古代文学。1995.4～1996.3 中国雲南省雲南民族学院・雲南省民族研究所客員研究員。著書に、『日本芸能の始原的研究』（三一書房、1981年）、『大嘗祭の始原』（三一書房、1990年）、『古事記の生成』（笠間書院、1996年）、『四川省大凉山イ族創世神話調査記録』（大修館書店、2003年）、『雲南省ペー族歌垣と日本古代文学』（勉誠出版、2006年）、『古事記の起源』（中央公論新社、2006年）、『歌垣の世界』（勉誠出版、2015年。日本歌謡学会第33回志田延義賞受賞）、『大嘗祭』（中央公論新社、2017年）ほか。

開催概要

- 日時：2019年5月22日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341
ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/